

議 長	副 議 長	局 長	次 長	書 記
様				



令和元年 11 月 25 日

香美市議会議員 比与森 光俊 様

会派名 自由クラブ

代表者氏名 小松紀夫

調 査 研 究 等 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

1.日程

●令和元年 11 月 11 日～13 日

2.場所

●福島県郡山市・須賀川市・田村市・いわき市

3.目的

●東日本大震災の被害状況、復興状況、観光振興及び台風災害による被災状況についての調査

4.該当する政務活動費の使途項目

●調査研究費

5.支出経費（内訳は裏面記載）

●92,110 円

6.参加議員名

●村田 珠美

7.調査研究の概要、所見

●別紙添付

8 成果物、資料等

●市民クラブに準ずる

支出経費の内訳と金額

区 分			金 額
交 通 費	鉄 道	自 羽田～郡山市 至 いわき市 ～羽田 1名 1 往復	15,430円
	船	自 至 往復	
	航 空	自 高知龍馬空港 至 羽田空港 1往復	40,800円
	バス・ タクシー代	自 高速代金300円×1名=300円 至 3,170円	3,470円
	借上料	自 郡山市 至 いわき市 往復 km	10,800円
宿 泊 費		18,400円×1名	18,400円
参 加 費		取扱い手数料1,500円	1,500円
駐 車 場 代			
資 料 印 刷 費		印刷費 510円	510円
会 場 費		あぶくま洞入洞料 1,200円	1,200円
講 師 謝 金	謝礼金		
	鉄 道	自 至 往復	
	船	自 至 往復	
	航 空	自 至 往復	
	バス・ タクシー代	自 至 往復 km	
	宿 泊		
	食事代		
	借上料		
合 計			92,110円
(特記事項)			
※ 鉄道等内訳 羽田～郡山 いわき駅～羽田			

●調査研究成果の概要・●所見等

【11 日】

郡山市の台風 19 号被災状況

19 号台風で郡山市阿武隈川と八田川の合流点が甚大な被害に遭った。1 か月になろうという被害を受けた場所の視察と、産業廃棄物となってしまったゴミの集積場所等を視察した。

10 月 25 日にも大雨被害を含め、福島県では全国でも最も多い 33 人が死亡した。この中で 29 名の方は河川の氾濫に巻き込まれたことによる溺死や窒息死だったそうです。

県の報告によると、台風 19 号では 47 河川が氾濫。その後の大雨でも相馬市の小泉川など複数の河川で破堤した。特に福島県中央部を南北に流れる阿武隈川とその支流、そして夏井川流域で死者が集中している。また 29 人の中で 14 人の方は自宅の 1 階で被害に遭われたようだ。

被災地では、雨が収まった後の 12 日深夜から 13 日未明にかけて浸水被害が拡大している。丁度就寝時間で木が付いた時には遅かったようだと考えられる。また、9 人の方は車で移動中に被害に遭っている。視界が悪く道路状況も正確に把握できなかったとみられている。

11 月 11 日現在、重軽傷者数は 59 人に上っている。住宅市街は、全壊 366 棟、1827 棟が半壊した。床上浸水は 11.872 棟、床下浸水は、2.680 棟である。8 市町村の避難所で今も 1.084 人が不自由な避難生活をしている。

堤防が決壊した県管理の 23 河川 49 か所のうち、8 河川 16 か所は国が応急復興工事を代行して、そのうち 4 か所は完了している。県対応分も 15 河川 33 か所で大型土のうを積み終えたが、被災河川で本復興に至ったところは 1 つもない。総被害額は、1.389 億円となる。

視察した場所は、1 階は全て浸水していて堤防から水が渦になって襲ってきたと話していた。地元のタクシーの方の話してくれた。地名が水門町で複雑な感じがした。浸水した場所は地価がかなり安く、工業団地もあり仕事場にも近いということで住宅地となったのであろう。

ゴミ問題は深刻で数か所に分散していて、分別は屋外運動場に分別されて収集していた。日を増すごとに臭いも出てくるので、生活域のゴミを早く処分出来たらよいがと話されていた。この場所は、平地が多く収集場所がありよかったが、本市の事が気になる。

郡山市罹災証明発行 7%にとどまっている。7.261 件のうち発行件数は 530 件、いわき市は 24%、となっている。遅れが出た理由は、「災害規模の大きかった自治体は調査や事務処理に時間がかかっている。」とのことで県も支援をしようとしている。ゴミの収集にも罹災証明が必要な物もあり早期に手続きができればと思う。須賀川市は最も早く 11 日までに 1.528 件すべての発行を終えていた。

須賀川は消防本部も浸水をしたそうで救助要請があってもいけなかったそうである。また、避難生活が続いているので、心身の不調を訴える方が相次いだようだ。搬送された方の病気は、腹痛、胃潰瘍、心臓疾患、精神的要因などである。避難所の環境をいくら整備しても限界がある。

那賀川・田村市・いわき市の台風被害と東日本大震災の被害状況

【12 日】

藤沼ダムは、現在は普及が進み震災当時の様子は窺えないが、バスの運転手さんから当時の様子を聞くことができた。ダムは決壊し、その水は濁流となり下流の滝・長沼地区の住宅・農地等を飲み込んだばかりか、8 名の尊い命までも奪ってしまった。被害に遭われた方の中で小学生の子どもさんは 40~50 km 先で見つかったが、赤ちゃんがまだ見つかっていないので胸を痛めていた。改修工事はしたが現在も水が漏れているそうで、水の怖さを話してくれた。

あぶくま洞は、およそ 8,000 万年という歳月をかけて創られた大自然の造形美といわれ、全長 600m の洞内に種類の数では東洋一ともいわれる鍾乳洞が続く。石灰岩の大きな山で掘っていて偶然に見つかったそうで、観光地となった歴史は新しい方だという事であった。

今は、年間 20 万人位の方が訪れているそうだ。夏場は 1 日 5,000 人位が来場している。震災前は年間 30 万人と賑わっていた。夏も 6,000 人位の入場が 1 日にあり、今は少なくなりましたと食事をした売店の方が話された。

いわき市地域防災センター久之浜の屋上等から周囲を見ると、津波で流された後に、新しい家が立ち並び、少しずつ静かなまちが復活しているようだった。中でも印象的だったのが、あの津波に耐えて残っている建物があり目が留まった。建物の近くには石積みもあった。

このセンターには当時の様子を展示している「久之浜・大久 防災まちづくり資料館」があり、当時の生々しい写真とビデオもあった。また、傍らには残された服や家庭用品等もあり体験談のコーナーでは、忘れ去られてはいけない思いが綴られ胸が痛んだ。

「津波の犠牲者は海に流されたと思われがちだが、むしろガレキに挟まれ身動きが取れずに命を落としたという現実をつたえていかなければ、津波の恐ろしさを忘れてしまう」という言葉のように、想像と現実の違いに改めて考えさせられた。

昔は、「地震 雷 火事 親父」と言って怖さを表していたが、ここに「水」が入ると思う。それだけ水の恐怖を感じる災害が多い。地球温暖化が一つの要因と分かっているが、環境問題が進んでいるようで取り組みが出来ていない。このことは世界レベルではあるが重要なことである。今回は、那賀川・阿武隈川等水の恐怖を痛烈に感じる視察となった。

本市は津波の被害は無いと考えられているが、震源がどこで規模はとなるとわからない。最悪を仮定して、一人でも元気で逃げることを前提に対策を研究していくことが望まれる。

また、ガレキの持ち込み先や、ペットの避難の問題等もテレビでも放映されていた。まだまだ山積していることに、一つ一つ確かな取り組みをしていき、一人一人の命を守る対策に取り組むことが更に重要だと思う。

2019 年 11 月 18 日

御請求書

香美市議会議員自由クラブ御中

〒782-0051

高知県香美市土佐山田町楠目 446-2

依光瓦工業(有)旅行部門

高知県知事登録旅行業 3-117

シースカイ・サポートトラベル

TEL090-3189-9553 FAX0887-52-9588

担当 依光

請求金額 ￥86,930

毎度格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。

下記の通りご請求申し上げます。

ご旅行先	福島県 郡山市・いわき市	ご旅行日	2019 年 11 月 11 日～13 日
------	--------------	------	-----------------------

種 別	単 価	人員・数量	金 額	摘 要
ANA 航空券 (高知～東京) 往復	40,800	1	40,800	
JR 券 (羽田～郡山・いわき～羽田)	15,430	1	15,430	
貸切バス代 (郡山・いわき) 小型	10,800	1	10,800	
宿泊代 (郡山・いわき) 2 泊朝食付	18,400	1	18,400	
取扱手数料	1,500	1	1,500	
合 計			86,930	

お振込の場合は、下記の口座にお振込み下さい。

*振込先

伊ミツワワコウキョウコギンカインシャ

四国銀行 山田支店

普通

依光瓦工業株式会社 (シースカイ・サポートトラベル)

*お振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。 *お振込受取書を持って当社の領収書に代えさせていただきます。

納入通知書兼領収書

1-0038602

伝票No : 38602

議会事務局

納入義務者名	自由クラブ		様	款項	20. 諸収入
第 号	平成31年度	一般		目	5. 雑入
金額	510円			節	2. 雑入
説明	1. 雑入				
納付目的	コピー代 (11月分)				領収印
納入期限 令和 元年 12月 19日 香美市指定金融機関 香美市収納代理金融機関				上記の金額を当市指定金融機関等に納付してください。 令和 年 月 日 香美市長 法光院 晶一	



※この領収書は、大切に保管して下さい。

(納入者保管)

領収証

香美市議会議員 自由クラブ 様

金額	百万	千	円
	¥	86930	-

但し 福島県視察交通宿泊費等

2019年11月25日 上記金額正に領収致しました



内消費税

現金

小切手

手形

振込

シースカイ・サポートトラベル

〒782-0051 高知県香美市土佐山田町楠目446番地2
依光瓦工業(有) 旅行部門
TEL 090-3189-9553 FAX 0887-52-9588



No. _____

領 収 証

香美市市議会議員視察団 様

金 額									
				4	3	3	0	0	

但 小型バス 高速料金立替
R1 年 11 月 12 日 上記正に領収いたしました

税務課 香美市富田町字天長南30番地21
 伸英交通株式会社
 代表取締役 杉本 正
 TEL024(983)1540

内 訳
 税抜金額
 消費税額(%)

領収証 No.5

1人300円

領 収 証

香美市市議会議員 様

金 700 円

但し、「東日本大震災 久之浜・大久証言集」(/ 冊) 購入費として
 領収いたしました。

令和元年11月12日 久之浜・大久地区復興対策協議会
 会長 木 田 寿 夫

市民クラブ

